

2018年6月27日

## 6 ふるさと納税の推進について

### ○松本暁彦議員

6、ふるさと納税の推進についてですが、昨年12月議会において、市全体の魅力をふるさと納税につなげると理事者方は言われました。それから半年が過ぎましたが、ふるさと納税の現状について、見込みで結構ですので、お聞かせください。以上です。

### ○井口総務部長

続きまして、ふるさと納税の現状と見込みについてのご質問にお答えをいたします。

直近3か年のふるさと納税の状況につきましては、平成27年は17件で451万5,000円、平成28年は12件で281万円、平成29年は17件で345万円で行いました。一方、摂津市民によります他自治体へのふるさと納税の状況につきましては、平成27年は872人で5,802万4,000円、平成28年は1,535人で1億1,015万9,000円、平成29年は、確定いたしておりませんが、約2,150人で約1億7,200万円が見込まれております。市民税への影響額といたしましては、平成28年度2,705万1,000円、平成29年度5,186万円、平成30年度につきましては約8,000万円を見込んでいるところでございます。

### ○松本暁彦議員

続きまして、6番目、ふるさと納税の推進についてでございます。

今年度は、約8,000万円の減収見込みであると理解をいたしました。この状況において、現時点でどのような対策を検討されているのかお聞かせください。

### ○藤浦雅彦議長

市長公室長。

### ○山本市長公室長

ふるさと納税の現状と今の検討段階の状況ということでございます。ふるさと納税につきましては、先にもご答弁をいたしておりますように、総務省が示しております制度の理念のとおり、ふるさとやお世話になった地域に恩返しをしたい、応援したいという気持ちを寄附という形で実現するものであるという認識をいたしているところでございます。また、現状、総務省からは、返礼品につきましては、制度の趣旨に沿った責任と良識のある対応も求められているところでございます。

しかしながら、先ほど総務部長からございました本市市税への影響があるというところは認識をいたしているところでございます。本市の魅力を広くアピールし、本市のまちづくりにご賛同いただくことで、ふるさと納税につながる取り組みも必要であるということも考えているところでございます。

先進市におきましては、返礼品に頼らないふるさと納税、例えば、図書館における児童書の拡充等、特定の事業への寄附や、市を訪れていただき、イベント等の参加という特典を設け、取り組みを行っているところではございます。そのようなことを参考にしながら、本市ふるさと納税のあり方等々について現在検討をいたしているところでございます。

○藤浦雅彦議長  
松本議員。

○松本暁彦議員

対応策が検討されていることを認識いたしました。例えば、長岡京市では、小学校の図書寄贈にふるさと納税を活用し、門真市では、みまもり訪問サービスをふるさと納税者が契約する市内家族に提供し、活用しております。

先ほどの危機管理体制もそうですが、市として、市民のためにどうあるべきか、どうすべきかを考え、適切なふるさと納税施策、市民サービス向上のためのふるさと納税施策をしていただくよう要望いたします。

以上で質問を終わります。

○藤浦雅彦議長  
松本議員の質問が終わりました。